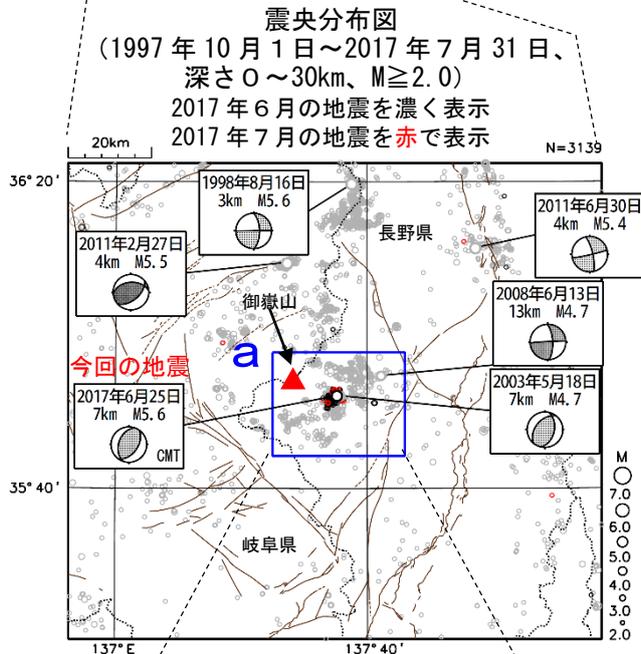


# 6月25日 長野県南部の地震



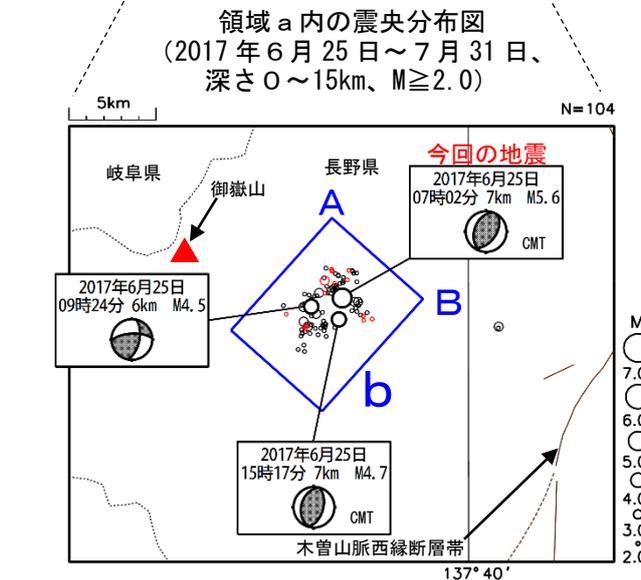
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



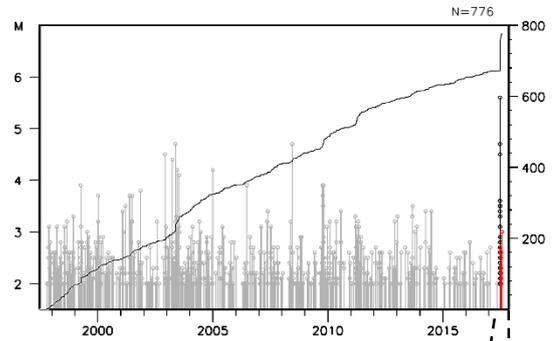
2017年6月25日07時02分に長野県南部の深さ7kmでM5.6の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、軽傷2人等の被害が生じた(7月3日現在、総務省消防庁による)。また、長野地方気象台が震度5強を観測した地点の調査を実施し、周辺家屋の天井板のずれ等の被害を確認した。

この地震の発生後、まとまった地震活動がみられており、7月31日までに最大震度1以上を観測する地震が76回(震度4:2回、震度3:6回、震度2:16回、震度1:52回)発生している。

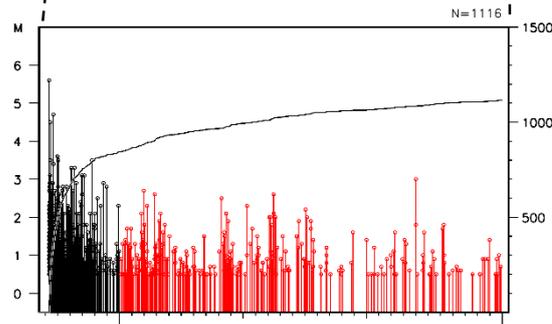
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)は、定常的に地震活動がみられる領域で、今回の地震とほぼ同じ場所で、2003年5月18日にM4.7の地震(最大震度4)が発生している。



領域a内のM-T図及び回数積算図  
(1997年10月1日～2017年7月31日)



領域a内のM-T図及び回数積算図  
(2017年6月25日～2017年7月31日、 $M \geq 0.5$ )



領域b内の断面図(A-B投影)

